

Co-Labo

コ・ラボ

川口市男女共同参画情報紙

NO. 70
通巻

2024.3



特集

令和の主張 私たちの生き方

～異なる意見を認め合い 共生するために～



Interview

株式会社コマドデザイン 代表取締役

福井 千波氏

令和の主張 私たちの生き方

～異なる意見を認め合い 共生するために～

皆さんは「自分らしく」日々過ごせていますか？

令和になってから急激に、平等や多様性、個人の選択や生き方が肯定されていく一方で、自身の考え方や生き方、自分の人生が間違いだったのかな・・・？と思ってしまうような表現や主張に出会うことはないでしょうか。

今から50年近く前、「私作る人、僕食べる人」という食品のCMが大きな批判を浴び、打ち切りになったことがあります。令和の今になっても、家事を女性に任せているかのように見える演出や広告はたびたび炎上の対象になりますが、一方で、ある生命保険会社の調査では、現代の20代の働く女性の4割以上が「本当は専業主婦になりたい」と考えていると回答しました。（※1）

自分らしさを大切にしたいのに、自分の選択に迷いや悩みを抱える「生きづらさ」、近年多くのメディアでも取り上げられています。

編集委員それぞれの「生き方・考え方」を通して、世代や性別を超えて、自分も他人も認めあえるヒントについて考えてみませんか。

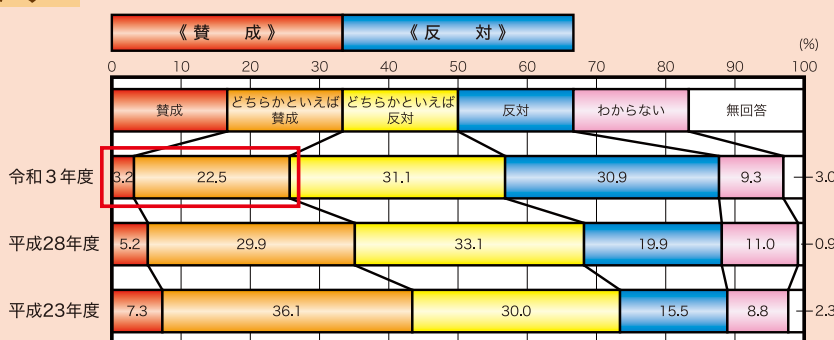
※1 ソニー生命調べ。「女性の活躍に関する意識調査2022」
https://www.sonylife.co.jp/company/news/2022/nr_221101.html



■様々な考え方は『アリ』です

川口市の「市民意識調査」では、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、反対、どちらかというとなら反対が10年前に比べ1.5倍に増えました。それでも、25.7%の人たちは賛成しています。

「男は仕事、女は家庭」という考え方について



資料：川口市「令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書」

<川口市男女共同参画推進条例>（基本理念）第3条（2）

「男女が、性別による固定的な役割分担意識に基づいた社会の制度又は慣行によってその活動が制限されることなく、

自らの意志と責任により多様な生き方を選択できること

固定的な役割分担の考え方は、活躍や能力の発揮を制限することになりかねませんが、「自分の意志で」「自分が望んで」生き方や働き方を選ぶことを否定するものではありません。

■わたしたちの「これがいい」「ちょっと言いたい」

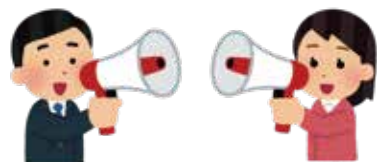
Co-Labo編集委員もさまざまな価値観を持つメンバーで構成されています。

私たちがさまざまな生き方を選び、時には違和感を覚える考え方に出会うこともあります。

次ページにはそんな様々な考え方が並んでいます。

皆さんはどう感じるでしょうか。「わかる！」や「そんなの考えたこともない」などご自身の考えと比べてみてください。

※個人の意見を編集しています



■それぞれの主張に対してどう感じますか？

人生に何度とない子育ての時間を何より大事にしたいと思っています。私が家事育児、夫が仕事に集中するなかで、家族全体のゆとりも生まれています。

結婚に価値を感じません。それより自立したいと思い、将来の不安や老後の不安について自分で学び備えています。かわいそうと言われたり、心配されたりするのは少しゆううつ。

キャリアを積み続けることが当たり前という世間の空気は少し息苦しいです。大事なのは家族としての選択であって、それ以上でも以下でもないと思っています。

現役時代、家事は家族に任せることが多かったのですが、時間にゆとりができた今、できるところから始めています。家事ひとつとっても段取りがあることを発見する毎日です。

子どもは可愛いけれど、仕事が好きで、成果を出したいし評価されたいので、出産や子育てでキャリアを空けてしまったことは残念に感じることもあります。

不満や不都合をすべて他者や社会のせいにする風潮が強くなっているように感じます。それぞれの環境に応じて、助け合おうという声より、犯人探しをしているようで、怖いです。

「〇〇らしさ」に違和感。そうじゃないと批判されているように感じてしまいます。

終身雇用や年功序列があったから、安心して家庭を持ち、仕事に打ち込みました。変革は結構ですが、少子化や未婚のニュースを見ると、残しておくべきだったのでは？

専業主婦として家事と育児だけの暮らしでした。最近、息子から学びなおしとか働くことを考えたら、と言われますが、この生活を続けるのがいけないことでしょうか。

年をとったせいか、自分の考えと違う意見・世相・風潮にそんなに腹が立たなくなりました。今は嫌なら見なければいい、違和感があるなら離ればいいと思うようになっていきます。

あなたの考える「自分らしさ」や「モヤモヤ」は何ですか？
それについてどう考えていますか？

■正しさや正解は人それぞれ まずは「共感」から

編集委員の考え方、みなさんの考え方、共感できるものも、そうでないものもあったはず。

わたしたちの社会は、他者とのかわりには避けては通れません。また、一人ひとりの見える景色や、物事に対する考え方、解釈の仕方はさまざまです。同じ世代で同じ価値観を持っているとも限りませんし、家族であっても異なる考えを持つことも当たり前です。時には、自分とは正反対の考え、受け入れがたい考えに出会うこともあるでしょう。そんなとき、違う考えの相手を否定したり、意見を押し付けたり、論破してしまったりは、協力し、手を取り合うことは難しくなってしまいます。

他者の考えや発言に対して、好き嫌いや良し悪しの感情を挟まず、ただ「そういう考えもあるのですね」「あなたの立場なら、そう考えることもあるだろうね」といったん受け止めることを「共感」といいます。同意したり、自分の意見と一緒にだったりしなくても、相手を受け止めることはできるはずです。

自分を尊重し、自分の生き方や選択に自信を持つことで、他人の価値観も同じように認められる社会にしていきたいと思います。

「今までのキャリアを生かし、子育てを楽しみ、仕事を充実したい」という女性が活躍できる社会。今回は、結婚・出産後、自分のキャリアを生かし、子育てしながらフリーランスデザイナーとしてスタートし、現在は株式会社コマドデザインの代表取締役の福井千波さんに話をお伺いしました。



株式会社コマドデザイン代表取締役

FUKUI CHINAMI

福井 千波さん

◆キャリアを生かし、子育ても楽しむ

大手印刷会社に在籍していた頃は、デザイナー・企画制作ディレクターとして多忙の毎日でした。その後結婚、出産を機に退社し子育てをしながらフリーランスデザイナーとしてスタートしました。転職が訪れたのは、川口で仕事を再開した時のことです。子育てが中心となる生活の中で出会ったのが産休中のママ友たちでした。

◆「仕事は出会いの連続」ワクワクが大事

ママ友との出会いの中で、自分の仕事に近いデザイン・編集・PRなどのキャリアのある人もいて、ある思いが強くなるきっかけとなりました。仕事を通して「川口をもっとすてきな町・子育てしやすい町」にしたいという思いです。

そこで「子育て優先」をベースにそれぞれの持ち味を生かし、年2回A5サイズの川口市の情報が詰まったフリーペーパー「komado」を発行しました。思わぬ反響もあり、埼玉高速鉄道主催のお祭りイベントの企画・運営などにも取り組みました。子育てしながらの仕事は大変でしたが、今は当たり前となった在宅勤務の形を取り入れました。そんな中「会社してみないか」というお話があり、法人としてスタートしました。「仕事は出会いの連続」ということを振り返ってみると感じるがあります。

◆川口を誇れる町に

ワクワク感を大事にしながら、子育てしながら働ける環境作り（テレワーク）が会社の特徴でもあり

取材を終えて

前向きな姿勢で取り組んでいると、新しい出会いがあることを実感しました。

座右の銘をお聞きしたところ、「ケセラ・セラ」（どうにかなるさ）。ポジティブな姿勢は、未来を見つめていることを感じ、あっという間に過ぎた1時間でした。

川口に転勤し、子育てをしながらフリーランスデザイナーを再開。子育て中に出会った人のつながりで、雑誌の企画や地元の祭りイベント企画などを行い、2017年に株式会社コマドデザインを立ち上げ、グラフィックデザインを中心に、イベント企画運営・映像撮影編集・パッケージ、WEBデザインなどを手がけている。川口市地域貢献事業者として活躍中。

- ・SAITAMA Smile Women ピッチ2019審査員特別賞・オーディエンス賞受賞
- ・第一回川口の元気経営大賞 奨励賞 その他多数受賞

「助け合い」・「子どもの行事は優先に」・「みんなのやりたいを実現」を大事にして仕事を進めています。仕事が大変な時「ママを誇りに思うよ」の一言で子どもから元気をもらったこともありました。そんな中、当初、何となくいていた「川口をもっとすてきな町・子育てしやすい町」を今では「文化度の高く誇りに思うまち」に…と思うようになりました。地域のお土産のパッケージデザインの仕事をやっているのもその一例です。

また、県ビジネスプランコンテストで賞をいただいたことがきっかけで、他の女性起業家との横のつながりの機会も増えて、川口市の女性起業支援事業も受託し、川口市の女性が活躍する事にも喜びを感じています。

仕事在宅化するなかで、次の世代の育成をどうするかが大きな課題のひとつです。

今、私が取り組んでいる企画・デザインの仕事は無敵大。そのため日ごろから気づく目を大切に、まずやってみることだと思います。そこには出会いがあるはず。私が考える文化のあふれるまちづくりとは、子どもたちにとっても川口を誇れる町になること。それが次世代へのバトン渡しです。



Kawaguchi Cafe MENU



Pick UP



川口市浮間ゴルフ場

都市に広がる緑の大空間



埼玉県川口市飯原町14-1



荒川河川敷に造られた戦略性に富む9ホールと、ビギナー向け3ホールのショートコースを備えています。

昭和58年から川口市公園緑地公社が運営し、今ではリーズナブルな料金で気軽に楽しめる、超近場のゴルフ場として知られています。市民の健康増進に役立っているだけでなく、子どもたちに自然観察の場を提供したり、災害時には避難所としての役割も担っています。女性や初心者のもとより、そういえば昔やったなあーという中高年ゴルファーも、あらためて挑戦してみたらどうでしょう。

コース(2グリーン)：さざんかコース・9ホール・パー35
ゆりコース・3ホール・パー9

クラブハウス：ロッカー、バスルーム、レストラン

アクセス：川口駅西口からタクシーまたはバス 駐車場：あり
問い合わせ：048-253-1883



「からだところ、大切にするのは自分自身」

だいじだいじどーこだ？

遠見才希子 著 川原瑞丸 著 大泉書店

自分だけでなくほかの子どもにも興味を持ち始める年齢の幼児への読み聞かせにぴったりの絵本です。性教育は、かつては思春期に学校教育で行うもの、というのが一般的でしたが、ここ数年で、「子どもが自分の体に興味を持ち始めたころから行うのが良い」と言われています。「水着で隠れるところは自分だけの大事な場所」「自分の身体を知りたいのは正しいし、自分の身体だったら触っていい」・・・そんな性教育ないし「人権教育」を、かわいいイラストと短文で優しく子どもに語りかけます。この本を通じて、「自分の大事な体を、自分がいちばん大事にしてね」という作者(大人)の思いはきっと子どもに伝わるはずです。



持続可能な魂の利用

松田青子 著 中央公論新社

日本の社会が望む女性像を息苦しいと感じる人が読めば共感ポイントがたくさん詰まった小説です。かわいい未熟なアイドル、学生の制服、社会人になって着る服、化粧・・・決まりを作り、プロデュースしているのはすべて「おじさん」だという事実に対し冷徹に切り込んでいくストーリー。その基準は世界と比べてもはや異質であるものの、「おじさん」にとって居心地よくできてしまった日本はもはや変化することができず、ゆっくりおしまいに向けてたまたまれていく。息苦しさにもがき、おしまいを察した主人公たちはクライマックスにこう主張します。「終わるなら終わるで最後まで好きなようにさせろ」。日本で生きている女性ならば一度は感じるモヤモヤを、主人公たちの言葉で上手に言語化してくれています。流されるのではなく、目をつむるのではなく、声を上げた主人公たちの行動によって、日本がどんなおしまいを迎えるのか、ぜひ読者の目線で見守ってください。



その情報、本当に正しいですか？

大量の情報が溢れる現代、私たちの「知識」は毎日に増えていきます。ですが、世の中の情報は良質なもののばかりではありません。最近では、SNSや動画サイトなどで拡散されるフェイクニュース(偽情報)や、商品やサービスを実際よりも大げさに謳う誇大広告などが問題になることも多く、明らかに悪質な情報については注意を払う人も多いでしょう。しかし、一般に信頼のおける情報源、たとえば新聞やTV、書籍で発信された情報だとしても、鵜呑みにするのは考えものです。

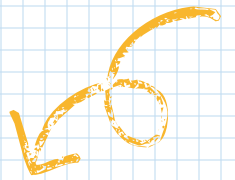
たとえば、「人気ランキング」は生活の中で頻繁に登場しますね。個人で楽しむには便利で楽しい情報ですが、情報の正確性に関しては、調査の実施方法などを踏まえて判断するべきでしょう。誰を対象に、どんな手段で、どれだけの意見を集めたのかによって、結果は変わってしまうからです。

情報を適切に取捨選択するための基本は、他者の言葉を安易に信じず、疑問を持ち、自分の頭で考えることです。そして、誰かに情報を伝えるとき、その情報に自分が責任を持てるかを考えてみてください。自分だけでなく、周りの人も守る意識を持つと、情報との向き合い方も変わってくるはずですよ。



教えてきゅぼらん!

子どもの疑問を解決! なぜなに相談コーナー
5歳の女の子からの質問に答えよ!



『議員さんになりたい』



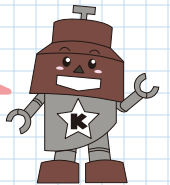
かわぐちし しぎかいぎいん
川口市に市議会議員は
何人いるの?

ぎしんていすう にん
議員定数は42人で、これまでは
おんなはひと にん
女の子が11人だったけど、
2023年4月に行われた選挙で
おんなはひと ふい おこほ せんきよ
女の子が増えて14人当選したきゅぼ。



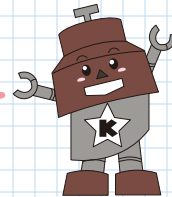
おんなひと ふ
女の子が増えたのはなぜなの?

いろいろな理由があるきゅぼ。
はか おんなはひと しでん かんが かに
暮らしの中で、女の子の視点や考え方が
か かない 課題が増えたからと
かんが
考えられるきゅぼ。



おとな わたし
大人になったら私も
りこうほ
立候補しようかな。

いいね!
25歳になったら
りこうほ
立候補できるきゅぼ。



川口市マスコット
「きゅぼらん」

セミナーREPORT!

こんなセミナー行ってきました!

編集委員レポート

令和5年度川口市男女共同参画セミナー イクメン応援講座

「**男性保育士が教える** パパと一緒に親子体操講座」

令和5年10月14日(土) 10時00分~11時30分
会場: 中央ふれあい館 日本間3・4号

4年ぶりの開催となった川口市主催の「イクメン応援講座」にパパと娘(3歳)で参加しました。

講師の吉田裕樹保育士は、保護者ファンの多い人気者の先生。以前勤務していた保育園で面識のあるパパに対して、吉田先生は「お会いするの初めてじゃないですね?」と気づいて下さったそう。

講座の内容は、パパと子どもが身近なものを使って一緒に楽しく遊ぼうというもの。娘は新聞紙遊びに大盛り上がり!ほかのパパ達もみんな嬉しそうに自分の子どもとふれあっていました。

集まったパパ達は最初は会場の雰囲気になんか不慣れながらも、時間が経つにつれ、空気はさながら「子どもを育てるパパサークル」のようでした。

受講者の声

「こんなサークルが自宅近所でもっと開催されていれば、子ども同士もパパ同士もきっと仲の良い友達になれるだろうなあ」と思いました。



○ 男女共同参画情報紙 「Co-Labo (コ・ラボ)」編集委員を 募集します

- 募集人数／若干名
- 活動内容／情報紙の企画や取材、原稿作成など
※編集会議は月に1回、土曜日に川口駅東口キュポ・ラ本館棟M4階で開催します。
※調査・取材は随時行います。
- 応募資格／市内在住・在勤・在学中、令和6年4月1日現在満18歳以上であること
- 任期／令和6年4月から2年間（最長4年）
- 発行回数／年2回（3月・9月）
- 応募方法／応募用紙に必要事項を記入のうえご提出ください（郵送／メール／直接持参）
※応募用紙（Word形式）はキュポ・ラM4階で配布又は市のホームページからダウンロードもできます。
- 応募期間／～3月15日(金) 必着
- 選考方法／書類審査及び面接
- その他／会議への出席等につき2,000円をお支払いします。



○ 男女共同参画情報紙 「Co-Labo(コ・ラボ)」とは

公募による市民編集委員が中心となって企画・編集を行い、3月と9月の年2回発行しています。男女共同参画に関するタイムリーな話題から、多方面で活躍する川口の人々、市で実施している事業の紹介やちょっとしたためになるコラムまで、毎回充実の内容でお届けしています。



○ DVに関する相談先

川口市配偶者暴力相談支援センター

窓口相談

●相談日時●

毎週 火～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前10時～午後5時

※事前予約制です

☎ 048-299-8162

女性のための電話相談

●相談日時●

毎月 第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日) 午後1時～午後3時

※ひとり30分まで相談を受けます。

☎ 0120-532-317

(相談日時のみ通話可)

その他の相談先

| | |
|------------------------------------|--|
| 川口市役所 市民相談室 ※法律相談、ファミリー相談等(予約制) | |
| 月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15 | ☎048-259-9037 ☎048-259-9038 |
| 最寄りの警察署(生活安全課) | |
| 月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15 | 川口警察署 ☎048-253-0110 武南警察署 ☎048-286-0110 |

緊急の時は110番!

配偶者や恋人など親しい間柄で行われる暴力行為をDVといいます。殴る・蹴るだけが暴力ではありません。

- 何を言っても無視する
- 交友関係を制限する
- 避妊に協力しない
- 性行為を強要する
- 生活費を渡さない
- 暴言を吐く

☑(チェック)がひとつでもついたら、DVかもしれません。一人で悩まずに、まずはご相談ください。

男女共同参画苦情処理委員制度について

川口市男女共同参画推進条例第14条の規定に基づき、市が実施している男女共同参画の推進に関する施策または男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策等に対して、市民の皆さんから苦情の申出や意見の提出ができる制度です。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01060/020/8/4174.html>



市役所からのお知らせ



川口市「育児をシェア!!～みんなで楽しもう～」フォトコンテスト

令和5年度

受賞作品の発表

市長賞



「荷台の重みは幸せの重み」



「仕上げは二刀流！」



「投力レベルアップ講座」

優秀賞



「はじめてのボウリング」



「幸せな1日の始まり」

カラフル
COLORFUL ふえすた
特別賞



「赤ちゃん誕生で・・・」

カラフル
COLORFUL ふえすた
特別賞



「パパ、このおいしいもの、なあに？」

きゅぼらん
賞



「プレゼントは身長計」

事務局

川口市 市民生活部
協働推進課

〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュポ・ラ本館棟M4階
TEL 048 (227) 7605 FAX 048 (226) 7718

編集後記



市民編集委員 ※五十音順
鈴木・田中・中尾・沼尾・三山・山谷

◆特集を通じ、「それって違う？」と感じた時に、「いや、そう考える人もいるよね」という優しさや心にゆとりを持つ大切さを感じました。(鈴木) ◆企画を始めたとき、外はまだ暑かったのに、今回のコラボが発行される時は冬の後半…。時のうつろいを感じます。そして川口もどんどん変わっていくのを感じます。(田中) ◆何故かふと「手に取るな矢張り野に置けれんげ草」(瓢水)が繰り返し口から出るようになりました。(中尾) ◆議論をただ「聞く」・「聴く」だけでなく、「訊く」ことの大切さを感じ、正解はひとつだけではないからこそ「訊く」力が大切だと実感しました。(沼尾) ◆本号の編集会議では、編集委員間で特に多くの意見が交わされたように思います。それぞれの価値観に触れられる場にいることに感謝です！(三山) ◆刺身は鯛が好きです。ツヤがあり柔らかくてほのかに甘い。刺身のほか塩焼き煮つけ鯛めし鯛茶漬け、みんなおいしい。「春待つ花の桜鯛」(山谷)